

**浜岡原子力発電所 5号機 原子炉建屋における放射性物質を含まない
水の漏えいについて**

2011 年 7 月 12 日

発生場所	5号機（停止中）：改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット 原子炉建屋 2 階（放射線管理区域）
発生年月日	2011 年 7 月 12 日
発生時の状況	<p>2011 年 7 月 12 日午前 10 時 20 分頃、中央制御室に原子炉建屋地下 2 階の床漏えいを示す警報が点灯したところ、その直後、協力会社社員から原子炉建屋 2 階で漏えいが発生しているとの連絡を受け、当社社員が 2 階で漏えいを確認しました。</p> <p>漏えいは、原子炉冷却材浄化系^{※1} フィルタの洗浄のため、本来使用する補給水^{※2} のバックアップとして使用していた脱塩水^{※3} の接続ホースの破損により発生したものと推定しています。</p> <p>漏えい量は脱塩水タンクの減少量から約 40m³ と推定しています。</p> <p>なお、念のため本事象による被水した設備の状況を確認した結果、一部避難誘導灯やタンクレベル検出器等が被水し、不具合を確認したものの、その他の設備には影響がないことを確認しました。</p>
対応・原因	<p>漏えい確認後ただちに、5 号機脱塩水ポンプ(A)(B)を停止するとともに、弁を閉止し、漏えい箇所を隔離しました。</p> <p>今後、接続ホースの破損原因を調査します。</p> <p>また、漏えい水については、液体廃棄物処理系にて適切に処理をおこないます。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
<u>お知らせ基準</u>	<p>運転情報「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき(但し、100 リットル程度に至らない漏えいを除く)。」に該当します。</p>

※1 原子炉冷却材浄化系は、原子炉水中の不純物を除去し、水質を維持させるための系統です。

※2 補給水は、発電所の運転に再利用している水で、放射性物質を含む水を液体廃棄物処理系で処理して使用します。

5号機の補給水には 2011 年 5 月 15 日に発生した海水流入事象に伴い、塩分が含まれていることから、現在使用していません。

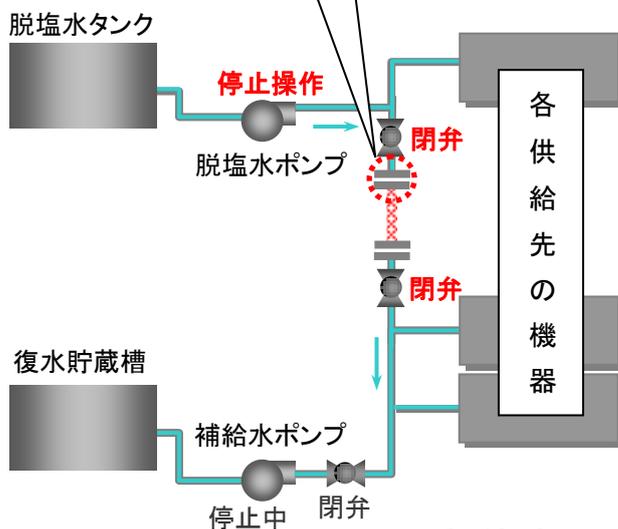
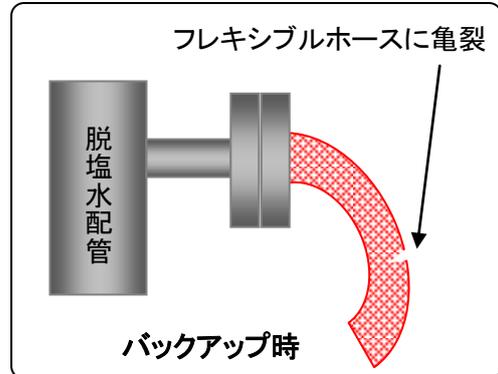
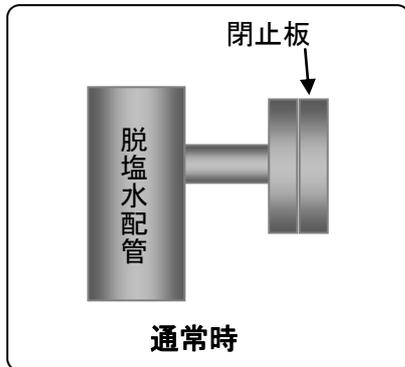
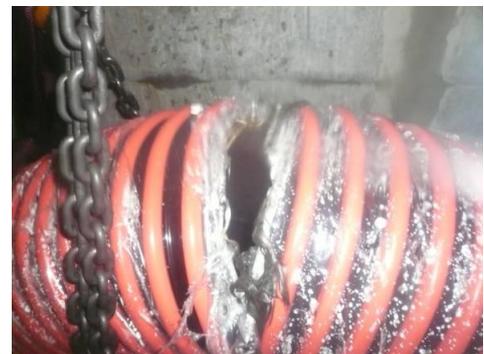
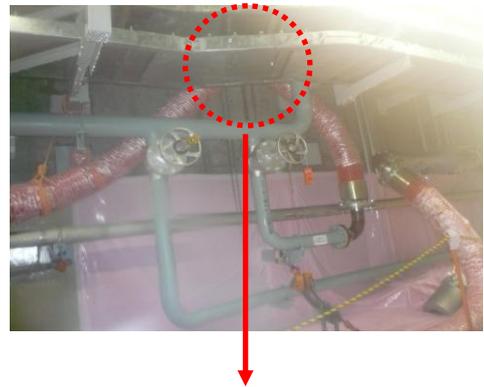
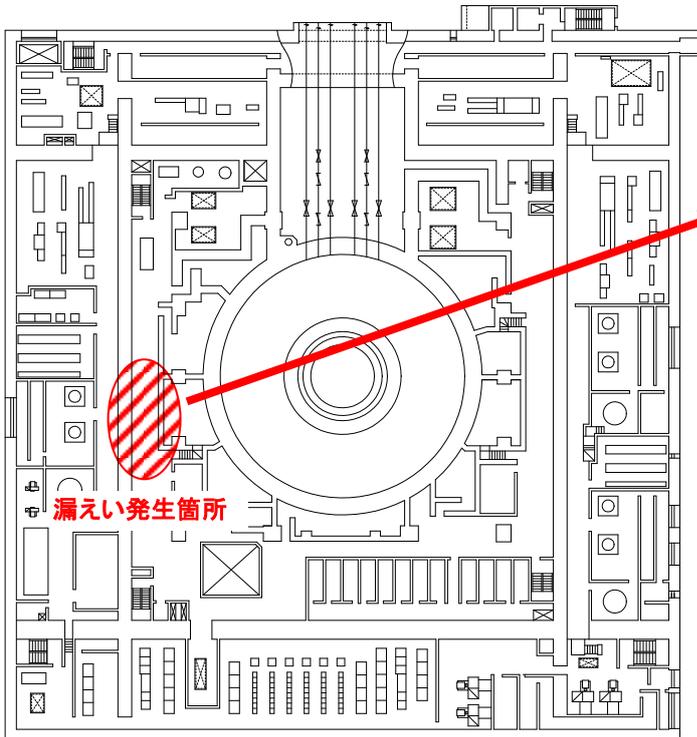
(2011 年 5 月 15 日お知らせ済み)

※3 脱塩水は、新野川の伏流水を脱塩処理したものであり、放射能を含んでいません。

以上

5号機 原子炉建屋2階における放射性物質を含まない水の漏えいの概要

5号機 原子炉建屋2階



赤字は、漏えい拡大防止(隔離)のため、操作した機器を示す。

系統概要図